

## ツマグロヒョウモン

北へ分布拡大中のツマグロヒョウモン。本来は暖かい西日本中心に分布するものですが、近年は温暖化の影響により、関東以北の涼しい地域でも冬を過ごせるようになりました。また、食草であるスミレ科の花(特にパンジー)が都市部に増えたことで、都会でも生活できるようになっていきます。

オスとメスとで、翅(はね)の様相が異なることで知られている本種。オスは普通のヒョウモン(ヒョウの毛皮のような模様)ですが、メスは翅裏の先が黒くなっています。それが名前の由来にもなっていますので、オスカメスカ判別がつかないときには、「妻が黒い」と覚えておくとういかもしれませんね。

